

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、病院研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	白内障手術による惹起乱視と角膜弾性力の関係
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：川原 範夫
研究責任者	金沢医科大学病院 医療技術部 心身機能回復技術部門 視能訓練士 清田 優希也
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2026年12月31日
研究参加拒否 申込受付期間	2024年3月31日までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため、研究対象からの除外は出来なくなります。研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願ひします。
対象者	2022年4月から2023年9月までに、金沢医科大学病院眼科で白内障手術を受け、手術前と手術1ヶ月後に視力、眼圧、屈折、眼軸長、角膜曲率半径、を受けた20歳以上の方
当該研究の意義・ 目的	白内障手術は角膜を切開し水晶体を除去します。角膜を切開するため、角膜のカーブが変わり、その変化を惹起乱視と言います。その惹起乱視を計算に取り入れ、眼内レンズで乱視矯正を行います。惹起乱視は、患者さんによって差があるため、これを予測することで乱視矯正を高い精度で手術することができます。そのため、予測するための要因を調査し、今回は学会にて症例報告を行います。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	本研究は、以下の情報を電子カルテより収集し、得られたデータを使用して解析したデータを学会にて報告させていただきます。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 報告データ項目 年齢、性別、病歴、眼所見、視力、屈折値、眼軸長、角膜曲率半径、角膜弾性力 この研究では試料の取扱いはありません。 集められたデータは学内規程に則り、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研 究対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。

試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	ん。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 眼科 視能訓練士 清田 優希也 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線(37301)

作成日： 2023年10月5日